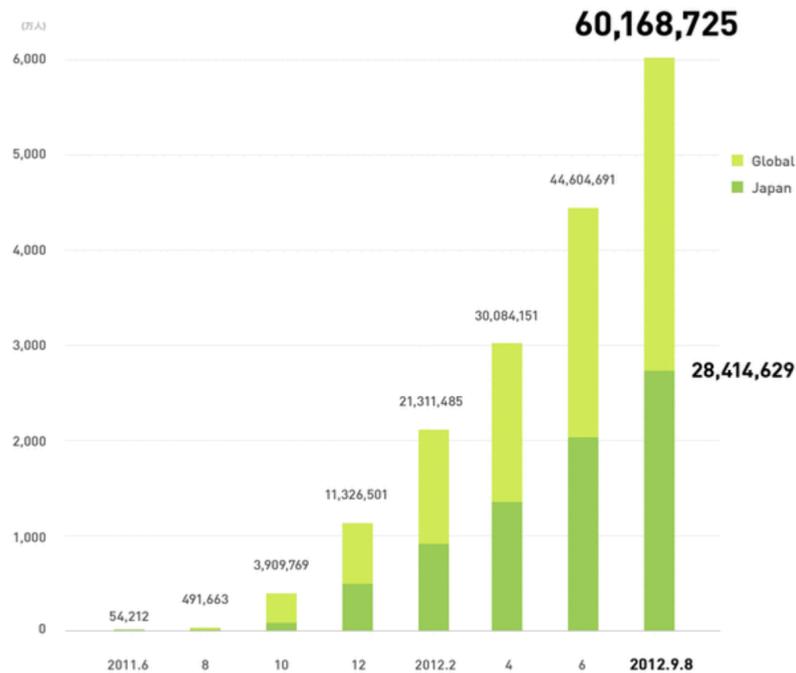


キャリアとの連携強化や、プラットフォーム上のコンテンツ拡充に注力

NHN Japan株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森川 亮、以下 NHN Japan）は、同社が運営する無料通話・無料メールスマートフォンアプリ『LINE（ライン）』（<http://line.naver.jp/>）の登録ユーザー数（iPhone/Android/Windows Phone/BlackBerryアプリ・フィーチャーフォン総計）が、9月8日時点で世界6,000万人・国内2,800万人を突破いたしましたので、お知らせいたします。

■登録ユーザー数の推移グラフ



LINEはユーザー同士であれば国内・海外、通信キャリアを問わず、無料で音声通話・メールが楽しめるスマートフォンアプリとして、日本をはじめ世界230以上の国や地域で利用されています。

7月26日に登録ユーザー数世界5,000万人・国内2,300万人を達成以降も、引き続き3週間に500万人以上のペースで堅調に利用者数を伸ばしています。8月17日には、新たにBlackBerry端末に対応したほか、9月3日にはKDDI株式会社が運営するスマートフォン向けサービス「auスマートパス」でLINEの提供を開始するなど、様々なOS/デバイスへの対応強化やキャリアとの連携によって、更なるユーザーの獲得・利用促進に繋がっています。

また、本格的な事業化・プラットフォーム化の一環として、8月21日に株式会社マガジンハウスおよび外部コンテンツパートナー提供によるコンテンツを含めた「LINE占い」をAndroid版にて先行公開し、併せてLINEが提供する有料コンテンツを購入・利用することができる仮想通貨「LINEコイン」を導入。続けて8月22日には株式会社リクルートが運営している「ホットペッパーグルメ」と連携した「LINEクーポン」をiPhone・Android版で同時公開するなど、外部コンテンツパートナー協力のもとコンテンツ拡充を進めています。このほか、有料版スタンプを販売する「スタンプショップ」の売り上げが8月単月で3億円を突破するなど、コンテンツ課金収入も順調に伸びています。

LINEでは、2012年中に世界1億ユーザーという目標に向け、引き続きキャリアとの連携強化や、プラットフォームにおけるコンテンツの拡充に注力し、さらに今後は北米や中国に重点を置いた海外展開の推進により、更なるユーザー基盤の拡大を図ってまいります。